

市民公開講座「これで安心・排泄ケアと認知症」

アンケート集計結果

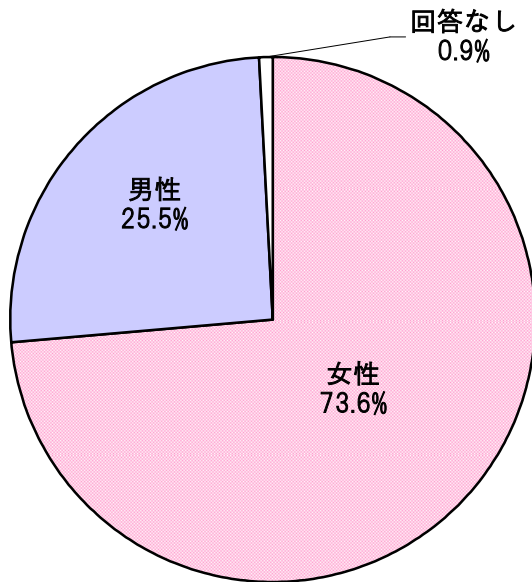
* H22.10.16（土） 実施

会場： イムズホール

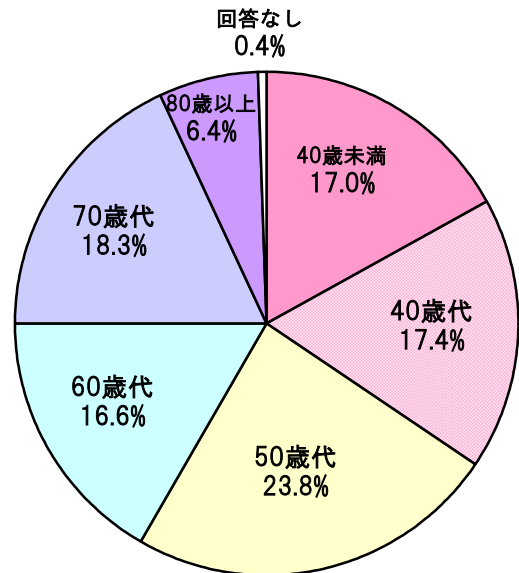
講習会参加者 294 名／アンケート回答者 235 名（回答率 79.9%）

【1】 あなたご自身についてお伺いします。

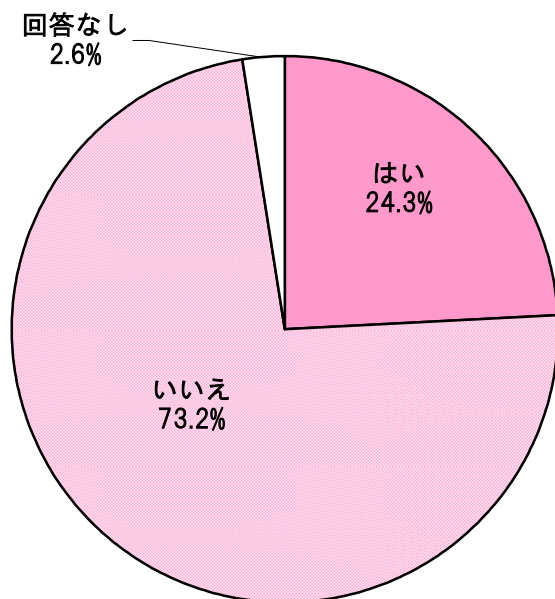
1) 性別



2) 年齢



3) 現在 ご家族の介護に携わっていますか？



4) 介護に際し、排泄に関してのお悩みがありましたらお聞かせください。

- ・ ベッドから下りてトイレに行く間に下着を少しぬらすときがある。
- ・ 心の病のため、時間を忘れ、トイレに間に合わない。
- ・ 前立腺があるので、昼間はトイレは歩いていきますが、夜は部屋にポータブルトイレを置いて排泄をしています。周りにこぼしたり、間に合わないときは廊下で排泄をしてしまいますので、介護する方はどうしたらいいか困っております。
- ・ 頻尿に関しての質問などにどう対応するのか。
- ・ 頻尿の方の頻回な排泄介助
- ・ 夜中に 2~3 回行く。
- ・ 一度寝て、目が覚めるとそれから 1 時間おきにトイレに行きます。(79 才の母親ですが、異常でしょうか)
- ・ 夜、排尿がうまくいかずもらす。おむつをしない。してくれない。
- ・ 家内がヘルパーに来てもらっているが、悩みとして 睡眠中に頻尿が多い。
- ・ 86 歳 女性：自分で歩行可
実母が頻尿で 1 日中パットを使用。いちばんたくさん量をためるパットを使用しても、満杯状態で捨てるのに苦労。筋力やがまん度が原因ということはあるのでしょうか？
- ・ 21 歳 脳挫傷の方で、尿の訴えが多い。
排尿までに数分かかり、出ても 50cc 程度もあれば普通に出るときもある。
また、空振りも多い。
その人の排泄パターンをつかむことが難しい。
- ・ 排尿パターンがなかなかつかめない。
尿意、便意がなく、不快感に対する感じ方も曖昧。トイレ誘導も拒否され、排尿時間もバラバラな患者（認知症あり）
どうすれば排尿パターンをつかめるのか。
- ・ おむつをすぐはずして歩き回る。
- ・ 介護を行うにあたって、ムレてかあついのか、おむつをやぶったりはいだりされることがある。
- ・ おむついじりのある人へのアプローチ法。おむつを変更しても、まき方を変えてもいじられる。もちろん清潔にもしています。(洗浄軟膏使用)
- ・ 母ですが、紙おむつに排泄し、夜 目が覚め、気持ち悪く脱いでしまう。また排泄し、寝具がぬれる。
- ・ おむつ交換のとき、まわりを汚す。認知症なので何を言ってもわからない。
- ・ おむつはしているけど、横もれがするのに困っています。
- ・ 男性のおむつ利用者で、おむつから横もれする。

- ・ 横漏れ防止のおむつを使用しているが、尿量が多く、夜間ぐっしょりになる。サイズが合わないのではないかと思うが、Sサイズがない。説明書どおりにやってはいるが、なにか良い方法を手探りです。
- ・ 夜間、吸収量の多いおむつを使用して、交換時間を少なく、夜間の睡眠を妨げないように、従事している施設では対応しています。スキントラブル防止の面から考えると、こまめな交換が必要かと思えますけど、仕方がないのでしょうか？尿・便意はありません。
- ・ とくとき尿を漏らすので、Dパンツを毎日使用させるほか、外出時にはパットをつけさせています。Dパンツは習性になって特に支障はありませんが、パットはいやがりです。
- ・ 尿漏れを気にしているのに、パットや紙おむつは使わないで、厚手パンツを使用している。臭いが気になるので、パットをすすめても嫌がるので困っている。失禁はまだないのですが、程よいリハビリを受けさせたい。年とともに入浴回数が減っているのも気になる。
- ・ おむつ使用で尿多く尿もれます。パッド吸収率がよく、ムレない紙おむつなどあればといつも思います。
- ・ 洗浄し、おむつ交換していますが、かゆみ訴えあり、掻いているときあります。いいスキンケアを…
- ・ おむつを長くしていると臀部の発赤と仙骨部に亀裂が入り、褥創になりやすくなり、なかなか治らないので困っています。
- ・ 現在 要介護4の母を小規模多機能施設を利用しながら在宅介護を続けています。トレパンとパッドを使用しています。本人が便秘なので下剤を用いて排便を促していますが、下剤の量によっては軟便が続き、調整がなかなか難しいです。それと、尿路感染があるため、抗菌剤を服用させています。トレパン、パッド交換には気を遣っています。
- ・ 感染症とその対応について。
- ・ 女性のおむつ利用者で、排泄物（尿・便）が前に流れるので、感染を起こしやすい。
- ・ 6ヶ月ほど前に脳梗塞のため父が入院していますが、入院時はほとんどマヒもなかったのですが、入院中にずっと悪くなり、あっという間におむつになってしまいました。本人にとって、これほどつらいことはない様子で、なんとかトイレでできるようにできないものかと思っていますが…リハビリも進まないまま、まもなく病院を出なくてはなりません。
- ・ 便失禁をする。
- ・ 失禁した便をもてあそぶ。
- ・ 何度か続けてトイレに行っているかと思っていると、突然 便が間に合わない場合がある。
- ・ 便をしたあと、拭いているつもりでしょうけど、下着に少しついていときがある。
- ・ 排便がデイであった場合にふきとりが完全でなく、帰宅後 おむつ交換のときに尿パッドに付着していることがあって、そこまでデイの職員に頼んでよいものかどうか？
- ・ 家族がひどい便秘で処置に困り、病院へ入れてしまった。1日でまっ黄色になり、全く話さなくなり、意思の疎通ができなくなってしまった。緩和ケアの病院とはこういうところなのか、大変ショックです。

- ・ キタナイ、クサイと思ってしまう方法は？
- ・ 自宅での介護（排泄に関して）は臭気、処理方法に悩みます。
- ・ アルカリ性のせっけんではなく、弱酸性のものがいいのですか？
- ・ 夫（80）介護 3 排尿時、便器のまわりにもらした後、拭きはしていますが、座ることをいやがり、立ってするので、今後どのようにしたらいいでしょうか。
- ・ 認知症の方の排泄の対応
- ・ 認知症の方への排泄の介護
- ・ 認知症のため、トイレに行ったことを忘れ、何度もトイレへ行きます。ひどいときには 10 分おきなどに行く。量は出てない様子です。「さっき行ったから出ないよ」と言っていますが、やはり行かれる。どうしたらよいか？
- ・ 認知症があり、10 分ぐらい毎にトイレに行きます。さっき行きましたよ、と話しても行ったことを忘れていきます。頻尿の薬も服用しています。
- ・ 認知症（中度）で一人暮らしの姉のところに通っているが、急激な下痢がやってきて、そうした話を聞き、来るべきもの前兆だろうか最近思っているところ。
- ・ 病院で勤務していますが、認知症の患者さんがおむつをはずしてしまいます。尿が出て気持ち悪くならずともありますが、何も出ていなくてはずしてしまい、シーツが汚染してしまうときもあり、対応に悩んでいます。
- ・ 79 才になる姉と一緒に過ごしていますが、今年 夏頃より物忘れがひどくなり、食事を別々に食べていますので、聞くと、もう食べたと言うのですが、最近 10kg ぐらいやせていますが、内科では記憶障害としてお薬を飲んでいますが、自分一人だと飲み忘れがひどく、私にはうそばかり言うようになりました。今後の心配です。
- ・ 認知症で要介護 2 の家内が家事を一切しなくなって、私が家事のほとんどをしていますが、少しばかり仕事もありますので、毎日 家事と仕事で追われています。家内は週 3 回デイサービスに行っています。
- ・ 20 年前に母の介護で、たとえ親子でも憎しみが出ました。いつまで続くかわからない介護は、した人でないとわからないでしょう。やがて自分もその道を歩くのかと思うと心配です。
- ・ 介護者優位のケアになってしまうこと。介護される側の自尊心を失わないケアとは？
- ・ 排尿ケア、スキンケアの必要性はよくわかるが、ご本人の羞恥心をどう取り除くか、という点が難しいと思う。
- ・ 当人の恥ずかしさへのフォローの仕方。
- ・ 排泄ケアについては、されるがままでした（病院・施設）。娘にケアされるよりも他人の方がまだいいと自分に言い聞かせました。
- ・ 夫の前立腺肥大等 排泄の介護を手伝ったので、只今は術後一応安定していますが…これから

- ・ 夫 77 才、昨年 前立腺癌で全摘手術を受けました。やはり排泄には旅行など下半身の着替えを持ち同伴しております。外に漏れてもあまり本人は自覚がなく、ソファ等 異臭が少しして、孫などいやがります。
- ・ 親が排尿に問題があり、病院の診察・治療を受けてもらいたいが、最初の検査ですごく痛い目にあい、それ以降 絶対に行かない。かなり進んでいると思うが、どうしたらいいか。
- ・ 団地の管理業務に従事しております。89 歳のお母様（体格がいい）をお一人で介護していらっしゃる娘様（50 代）が団地のトイレは狭いので介助しづらい、どうにか改装できないかと訴えられますが、大がかりな改装はできませんので、どうにもしてあげられません。（ポータブルの使用は娘様が拒否されます）度々の苦悩のお話を伺いながらも…対応できません。せめて知識を得ることで、その方の気持ちをもっと分かれば、と参加させていただきました。
- ・ 体重の重い人の介助
- ・ いまのところは紙おむつ等 使っていませんが、いま 96 歳なのでこれから悩みが出てくると思います。
- ・ 一般市民が排泄関連の相談ができる団体、窓口があれば知りたい。

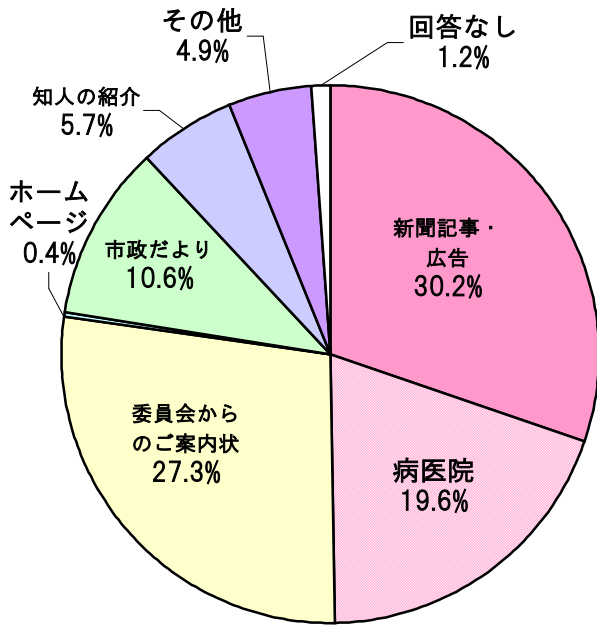
5) 排泄に関するご自身のお悩みがありましたらお聞かせください。

- ・ ときどき便秘に悩まされます。朝起きてすぐ冷水を飲み、洗顔、着替えのあと、水をと教えていただき、ありがとうございました。
- ・ 腸の動きが弱ってきたようで、排便に困っている。(下剤を飲んでも出にくい)
- ・ 便意をもよおしたら、小時間の余裕もできずに、すぐにもらしてしまう。
- ・ ガマンができない。せきと同時に失禁してしまう。
- ・ 食物繊維は適切にとっていると思うが、便秘がひどい。
- ・ 小便の便意を知ってすぐトイレに行けば問題ないのだが、若いときのくせで、30分から1時間がまんすると失敗する。1日6回から8回小便する。1回に300から500cc
- ・ 便意が生じたらすぐ排泄しないとパンツ等をよごす。外出時は必ず紙パンツ類を着用しないとしかぶる。若いときのような辛抱ができない。
- ・ 冬になると、急に尿意をもよおすようになる。
- ・ ガマンできない場合がある。夜の回数が多いときで3~4回。
- ・ 夜中に何回もトイレに行くことが多く、尿の回数が多い。よく眠れない。
- ・ 夜間の排尿の回数が多い(3回以上)、安眠できない。
- ・ 頻尿。夜6~7回程度。なかなか睡眠できず、明け方に眠るも5~6時頃には目が覚める。夜、3回ぐらいのときは少し眠れます。結局、いろいろと考え、とりとめのないようなことが次々と頭に浮かんでくるからと思っています。
- ・ 排尿後 始末しているとき、左側を押すとまた排尿がある。がまんできずにいると、少しずつ尿もれしてくる。
- ・ 夜、よく眠れないとき4回もトイレに起き、昼間少しがまんしていたらひとりでに出来ます。(毎日ではないですが)不安です。
- ・ 夜間頻尿(2~3回)
- ・ 夜中にトイレに行くのがつらい。おむつの話。
- ・ 排尿回数多い(日に10回?深夜3回)、排便(3日に1度)
- ・ 70歳になって排尿の回数が増して、1日に15回ぐらい 夜間に4~5回 特に睡眠中に尿漏れがときどきおこる。また、昼間でも突発的に尿もれ、トイレに間に合わないことが多い。
- ・ 残尿感も少しあるが、全部出し切ったつもりでもパンツが汚れ、しみが残る。
- ・ 尿パットとパンツをいつも重ねて使用していますが、夜がひどくて毎日失敗して困ります。(特に尿もれ)
- ・ 近年 出にくくなったし、近くなった。
- ・ 私自身(72才)、水道を使つての洗い物のときなど、尿意を強く感じます。
- ・ ときどき重いものをぶらさげると、少量尿が漏れることがある。

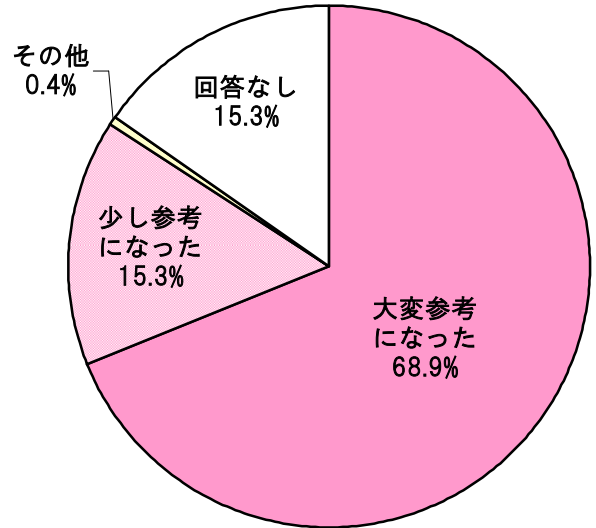
- ・ 前立腺癌の治療で放射線治療後、排泄が1日5~6回突然やってくるので、大変です。どうしたらよいのでしょうか。
- ・ 便や尿のにおい。汗も。
- ・ 紙おむつの使用について、もれにくいメーカーが知りたいです。
- ・ いまはないが、いつまでも元気でいられたらと思っています。

【2】 市民公開講座についてお伺いいたします。

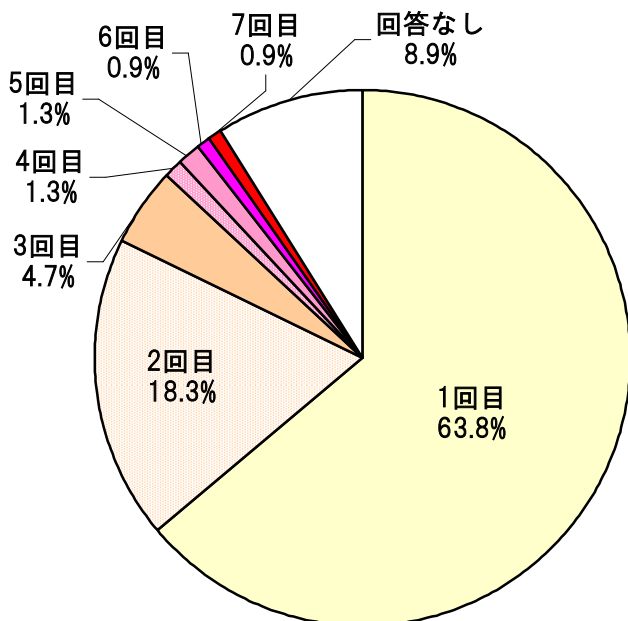
1) 本日の市民公開講座は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）



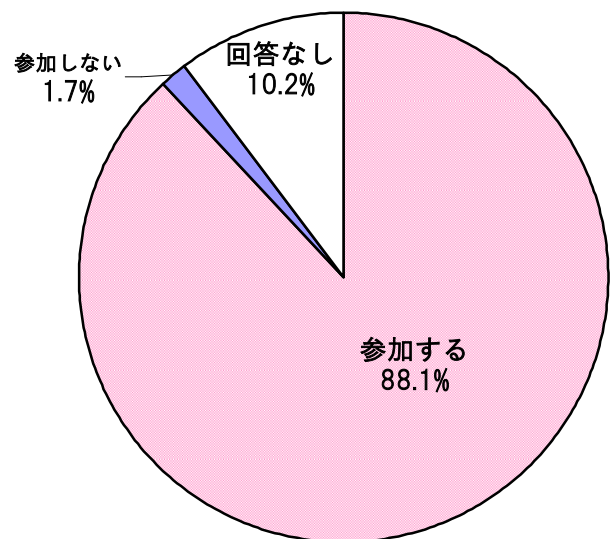
2) 本日の講演はどうでしたか？



4) 今回で泌尿器科関連の市民公開講座は何回目のご参加ですか？



5) 次回もこのような市民講座が行われれば参加されますか？



3) 本日の講演内容で最も興味をお持ちになった点をお聞かせください。

- ・ 排泄は生きている限りついてまわることで、身体的だけの問題ではない。これからの生活にも役立つと思います。ありがとうございました。
- ・ 時間の都合で排泄ケアの話しか聞けませんでした。細かく丁寧に話してくださり、とても参考になりました。介護される相手が気持ちよくということがすべての基本だと忘れずにいたいと思いました。
- ・ 職場に排便・排尿コントロールができない利用者のことを考えるために今日来ました。基本的なことが分かってよかった。
- ・ 職場において排泄ケアの処理は、スキントラブル、不快の除去は訴えの意思表示ができる方、そうでない方への取り組み（キャッチする）はスムーズに対応している。悪化しないよう、洗浄、保湿を十分に行えるようにさらにケアをしていかななくてはと思いました。
- ・ おむつの仕方、役立ちました。
- ・ おむつの当て方、褥創の手当て、スキンケアの原則
- ・ 紙おむつのチェックポイント。スキンケアの原則。洗浄剤の種類と取り扱いについて。
- ・ 介護の仕事をしているので、おむつのことが勉強になりました。
- ・ スキンケア、おむつの選択方法
- ・ 老健に勤務しており、排泄の委員をしていますので、おむつの選び方や種類、注意点などとても勉強になりました。
- ・ 排泄のパットについて
- ・ 梶西先生のお話、大変よくわかりました。尿とうんちのパットの違いをはじめて知りました。そして石けんで洗うことも知りました。ありがとうございました。
- ・ 介護者として、おむつをすぐに替えてあげたい。でも、施設・HP では人手が足りず…なげかわしい。手が欲しいです。胃ろう、鼻からチューブいれて 80 から 100 まで生かされている人がかわいそう。
- ・ 排泄ケア → 身近な問題を取り上げ、もっと詳しい対応法を聞かせてほしかった。(老人施設勤務)
- ・ 便の臭い消し、便用のパットがあるということ。
- ・ 便がくさくならない薬がある、下痢用の紙おむつがある、りんごが便通にいいということ。
- ・ 便秘と軟便 両方に良いのが「りんご」だと知り、さっそく本人に食べさせようと思います。
- ・ 臓器である皮膚の正しいケアの方法。臭いケアの錠剤の存在を知ったこと。
- ・ 便をバラの香りにする薬があるということ。ハワイの施設では便のにおいがしなくなる薬を飲んでいただくのが普通ということがびっくりしました。

- ・ お湯で流し洗いをしただけでは落ちない。石けんの泡を立てて泡で洗う。便のにおいがしにくい薬は日本で売っているのか？もう少し具体的に内容を充実させてほしい（排泄ケアの分）。
- ・ 尿、便、泡洗浄を知り、また、便専用パット、便臭い消し服薬の情報を得ることができた。
- ・ 排泄後のケアで泡をつけて流すだけでもこすらなくていいというお話を聞いて参考になりました。
- ・ スキンケアの大切さが大変参考になった。今まで顔や体をごしごしこすっていた。今後は石けんの泡で洗うことを心がけたい。
- ・ 皮膚の汚れの取り方が泡だけでも十分ということを再度確認できた。
- ・ 排泄 → 皮膚こすらない・泡で洗う
- ・ 皮膚ケアの話は、使う石けん、道具、ケアのしかた 65歳にもなったら大事だと思った。病院でやさしい石けんを使って、力を入れなくてこすって、クリームぬって…と言われたのが納得しました。
- ・ 排泄ケア、勉強になりました。入浴もやさしく洗ってあげること、おむつ交換のときもていねいに早めにケアをしてあげること、クリームをぬるなど 勉強になりありがとうございました。
- ・ 早めに石けんで洗い、取り除いてあげること。ベビー石けんや薬用石けんではだめなことがわかった。
- ・ 石けんの種類（ベビー石けん・薬用石けん）によっての作用の違い。思い違いをしていました。
- ・ ボディーローションの実行が大いに興味を持った。
- ・ 排泄物はほとんどアルカリ性であることにびっくりした。
- ・ 皮膚の状況が悪化する原因がアルカリ性であり、スキンケアが大切であることが介護にいかせていきたいです。
- ・ スキンケアについて皮膚トラブルの多い方がおられるので、参考にさせていただきます。
- ・ 良い皮膚の環境をつくること。
- ・ 皮膚のスキンケア
- ・ 介助のスキンケア、とてもよくわかりました。
- ・ 排泄物は健康のバロメーターで、スキンケアの大切さがよくわかった。
- ・ 排便等による皮膚のケアの仕方
- ・ 排便対策…清潔にすることが大切。その対応例、説明等がよくわかった。
- ・ 排泄後、毎回 洗うとのことですが、寝たきりの場合、夜中や真冬時に対応するのは大変だし、風邪を引くかもしれないと思い、その対応がよくわからなかった。
- ・ 排泄の勉強、大変わかりました。
- ・ 排泄のケアについて

- ・ ミチコ先生 → もう少しゆっくりお話をしてほしかった。
- ・ 福大の先生のしゃべりがちょっと早くてついていけない部分が多くありました。
- ・ 梶西ミチコ先生による排泄ケア、スキントラブル防止についてとてもわかりやすく、参考になったが、もう少し時間を多くとって、ゆっくりお話をしてほしかったが、病院や施設で働いているプロは基本的なことがわかっているので、聞き取りやすかった。一般の人にはあのペースでは聞き取れなかったこともあったのではないかと思った。
- ・ 認知症について 他 5 名
- ・ 認知症にならないための話。他 6 名
- ・ 認知症にならない食事法
- ・ 認知症と物忘れの区分等、認知症の正しい診断の方法
- ・ 認知症の診断に CT・MRI ではわからないとのこと。
- ・ 認知症について知らないこともあり、勉強になりました。
- ・ 認知症になっても、感情だけは残っている。笑うことは最後まで残っているということ。
- ・ 認知症患者の心はいつまでも生きていて 特に笑いの感情は最後まで残る、誉めて相手に合わせて行動する、ストレスをためない、毎日適度な運動をする、食生活に気をつける、等 勉強になりました。
- ・ 認知症に関して「笑う機能は最後まで残る」というお話が印象深かったです。
- ・ 認知症について → わかりやすくとても良かったです。やっぱり奥が深いと感じます。また、自分自身の予防にも努めたいと思いました。
- ・ 認知症の対応や原点を知ることができました。楽しく参加できてよかったです。認知症の研修は今後も参加したいです。
- ・ 認知症患者への対応として不快にさせない、誉めることをあらためて実践していこうと思いました。
- ・ 苛原先生のお話はユーモアと優しさで大変面白かったです。「認知症の方は認知症にならないか心配しています」には笑いました。否定しない対応を日常的に努めたいと再認識させていただきました。
- ・ 認知症の人に対して、否定したり怒ってはいけないとわかりました。
- ・ 認知症 → 怒らない・責めない
- ・ 認知症気味の夫に、もっと肯定的に接しようと思います。
- ・ 認知症状を理解することについて
- ・ 認知症についての再認識
- ・ 認知症の方の言っていることを否定しないという点。父が少し認知症があり、今もすぐ否定してしまっているの…
- ・ 認知症と物忘れの違い。否定しない。予防の話が印象的でした。ストレスをためない。食生活に気をつける。

- ・ ストレスをためずに食生活を気をつけること、運動することで予防できるということ。
 - ・ 介護している方がストレスをためないこと。
 - ・ ストレスをためず、適度な運動をし、食生活に気をつけ、人との対話、また 友達をつくっていく。
 - ・ 認知症に関して、自分のこれからのことと思いますので…
 - ・ 苛原先生の認知症の人への対応に興味を持った。温かいウィットある対応を心がけたい。
 - ・ 以前 両親の介護をして、大便を室内にまきちらされた経験があります。自分がそういうことにならないように予防したいと思い、申し込みました。
 - ・ もっと早く認知症を知っておくべきだった。母は寝たきりになってしまったが、5~6年前から発症していて、けんかばかりしていた。優しくできなかったのが後悔している。
 - ・ 認知症の初期、納得する事項があった。認知症の病気だった父をみとったのでわかった。
 - ・ 妻が初期の認知症のため、症状に対する対応等。
 - ・ 家内は5年前に認知症の診断を受け、薬とデイサービスで本人は楽しく過ごしていますが、介護する方は大変です。美しく老いることを私もともに歩みたいと思っています。今日の講演はとても参考になりました。
 - ・ 医療従事者でかつ認知症の家族をもつものとして、わかっているけど自分の家族にはうまくできないのが現実です。でも、自分の知っていることが間違っていなかったと少し自信が持てました。実践していこうと思います。
 - ・ 認知症の話。高齢者夫婦（夫81才、妻77才）なので心配です。お話は大変興味がわき、ためになりました。
 - ・ 認知者に認める、ほめること、役立ちました。
 - ・ 認知症の人への対応の仕方。他15名
 - ・ 認知症の研修はとてもためになった。
 - ・ 認知症の話はわかりやすくよかった。
 - ・ 認知症のお話、とてもわかりやすかったです。遠くからありがとうございました。
 - ・ 認知症の勉強をしたくて参加しました。ありがとうございました。
 - ・ 学習療法について
-
- ・ 尿、認知症 どちらも
 - ・ アルツハイマー、泌尿、どちらも興味ありました。有意義なお話、ありがとうございました。
 - ・ 排泄があることが喜ばしいこと！認知症には笑顔が大事！
 - ・ 排泄に関すること。認知症に気をつけます。
 - ・ 排泄ケアに関しては参考になりそうな話があり、興味深く聞いておりました。認知症の先生の話は聞く必要はなかったです。

- ・ 梶西先生の講演のあと行われた質疑で「おむつへの排尿の習慣づけは良いことなのか悪いことなのか」というものが、私自身も興味があることだったので、いろいろな専門家の考えを聞きたいと思いました。
- ・ 排泄ケアの講義の質問（自分の両親の対応）に対してあの答え方はないと思った。1つの意見としてでも参考までに答えることはできなかったのでしょうか。盆すぎからの悪化で、家族は本当に困っていると思います。主治医への相談もしていると思います。
- ・ 最後の質問をされた方の変な、よくわかります。先生はいろいろなことがわからないので答えられないとおっしゃいましたが、家族は大変なんです。アドバイスのものは答えてほしかったです。そのような方はたくさんおられるはずですよ。
- ・ 質疑で実感したことは、大まかな説明ではなく、1人1人持っている悩みなどはそれぞれで異なるということ。

- ・ 母は91歳ですが（自宅）、まだ元気で介護は現在 必要がありませんが、今後のことで勉強になりました。
- ・ 日本でおむつという言葉に代わる高齢者が情動的に傷つかない別の表現（言葉）が使われるようになればと思います。
- ・ 自分も後期高齢者だが、日ごろの心がけが大事だと思いました。
- ・ 今日は本当にわかりやすく説明をしていただき、本当にありがとうございました。
- ・ このような講演は初めてなので、今後のためになりました。
- ・ 介護に際しての良い勉強になりました。
- ・ 12月にヘルパー介護職の資格をとります。今日の講演、学校以外の知識として大いに参考となり、これからいかしたいと思います。
- ・ 自分にとっても大変有意義な分かりやすく理解できたこと、ありがとうございました。またの機会もぜひともお聞きしたいと願っています。
- ・ 実際の話をもじえてすごく聞きやすい講義でした。ありがとうございました。
- ・ 両先生のお話はどちらも今いちばん関心があることだったので、大変面白く、全部が興味深く拝聴いたしました。排泄についてはなかなか人に聞きづらく、母（91歳）の介護でも悩んでいましたし、認知の進んだ母につらく当たっていたと反省しました。
- ・ 講演がわかりやすく、今後 多くの身体の状態を見て、介護、自分を見つめて生活していきたいと思います。認知症のお話、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ わかりやすく、よかったです。
- ・ 大変参考になる項目が多かった。
- ・ 具体的な説明もあって、よく理解できた。

- ・ 介護福祉士講座をしてほしい。
- ・ 資料の文字が文字色の関係で見えづらかったです。（以前も同様事例あり）改善していただければありがたいです。
- ・ 資料をもう少し大きく（文字）してほしい。見えにくい。
- ・ 資料は白黒でカラーの部分の事項（文字）がわからない。改善をお願いします。
- ・ プロジェクターでの赤い文字は暗い照明では見にくい。
- ・ 時間が足りない。他 1 名
- ・ 入場時、席の誘導をしてほしい。他の講演会出席時は開演前から空いている席はつめてもらったり、荷物を置かないようにしてもらったり、遅れて入場の場合 席まで誘導していただきます。
- ・ 案内のお葉書をいただき、ありがとうございました。